

## Q. なぜ JIPDEC の企業コードが「標準」なの？

A. JIPDEC は、国内標準規格はもちろん、国際標準規格において、企業コードの発番機関として登録されています。

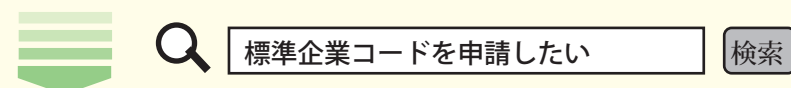
標準企業コードは、国内標準の CII はもちろん、国連標準の UN/EDIFACT および ebXML にも使用できるよう、ISO/IEC の標準にコード体系の登録をしています。さらに、バーコード、二次元シンボル、電子タグ等の自動認識技術による物品の識別にも使用できるよう ISO への登録を行っています。

国際標準	発番機関コード	備考
ISO/IEC6523 part2	0147	国際標準 EDI(EDIFACT) で使用する企業コードの発番機関コード：ICD コード名称：Standard Company Code
ISO/IEC15459 part2	LA	AIDC メディア（自動認識及びデータ取得媒体）に書き込む企業コードの発番機関コード：IAC
UN/EDIFACT DE3055	289	次世代 EDI(インターネットと XML を使用した EDI) で使用する企業コードの発番機関コード

### コードの新規登録／更新のステップ

①申請者：JIPDEC のホームページから、各申請ページをご覧のうえ申請ください。

Web申請（アカウントを作成し、企業マイページより申請）となります。



②JIPDEC：コードの新規登録／更新の処理を行います。

登録完了後、申請者に電子メールでお知らせします。

※申請書の受理後、3 営業日以内に登録し、電子メールでお知らせします。この時点でコードの使用が可能です。

③JIPDEC：登録証および登録／更新料のご請求書を企業マイページに作成します。

登録料：資本金 1 億円以下 20,000 円、1 億円超 40,000 円（税別） 3 年間有効

※コードの有効期限の 2 ヶ月前より、更新のご案内をいたします。

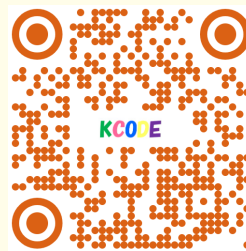
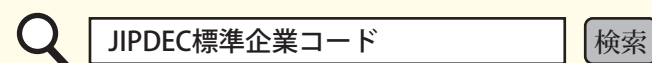
④申請者：企業マイページより登録証および請求書を確認のうえ、振込手続きをお願いします。

\* 内容変更、復活更新、廃止申請の方法につきましては JIPDEC のホームページをご覧ください。

### 標準企業コードに関するお問い合わせ

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 標準企業コード担当  
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル内

E-mail : [kcode@jipdec.or.jp](mailto:kcode@jipdec.or.jp) TEL : 03-5860-7560



標準企業コードに関する詳しい情報は、JIPDEC のホームページに掲載しています。

「標準企業コード」は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会の登録商標です。（登録商標 第 5430087）

便利でスピーディなオンライン取引と経営判断を可能にします。

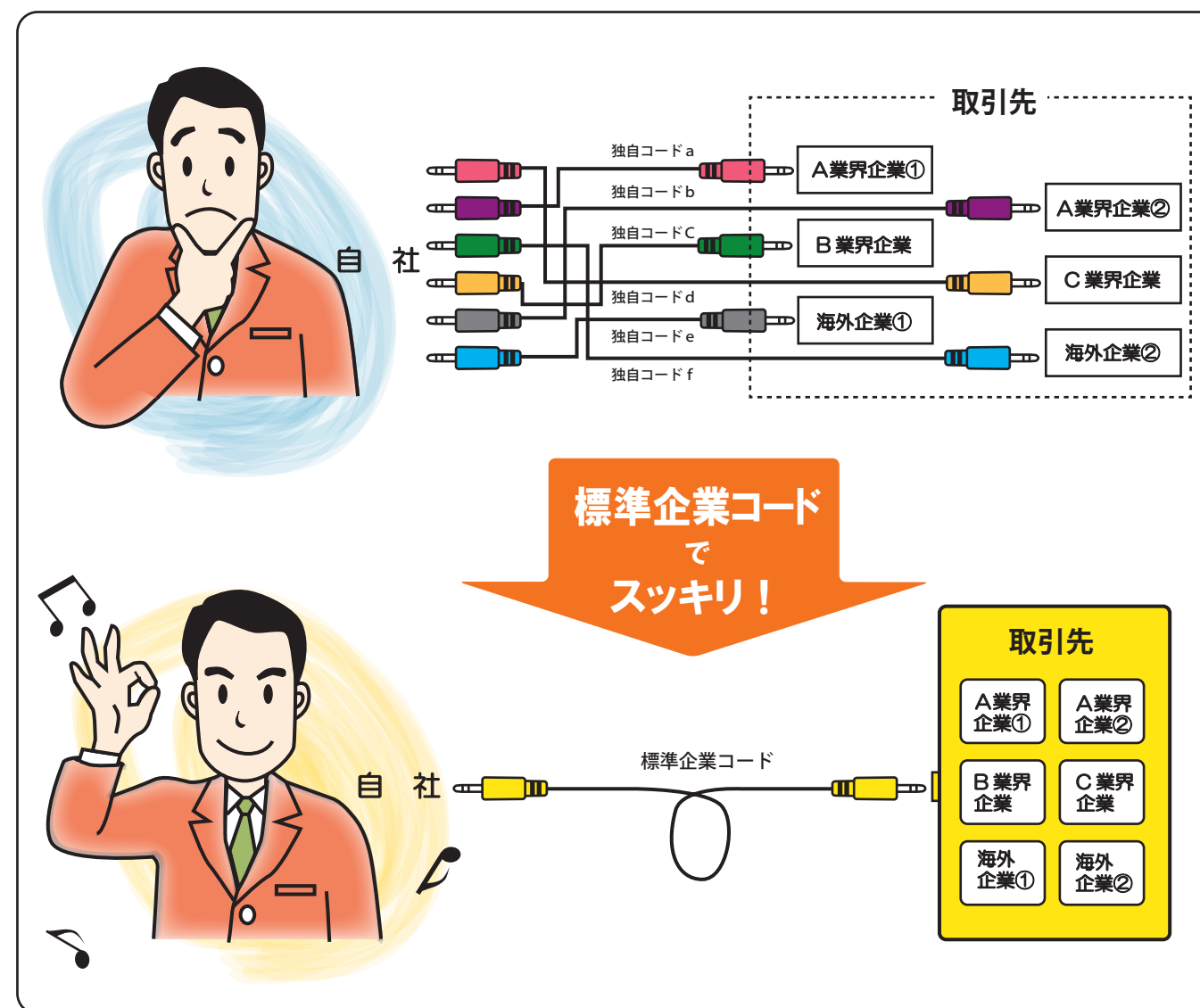
## 標準企業コードのご案内

各取引先から自社に対して異なるコードを振られたり……

自社で取引先に振っているコードの管理が面倒だったり……

取引先ごとの調達履歴分析や需要予測に時間がかかったり……

標準企業コードは、そんな悩みを解決します！



JIPDEC

一般財団法人日本情報経済社会推進協会

KCODE

中立的な機関が発行する、各社共通の企業コードを使用することで、  
企業コードに係わる悩みを解決します！

## Q. 「標準企業コード」って何？

**A. EDI（電子商取引、オンライン取引）の中で企業を特定するためのコードです。**

標準企業コードは、企業間電子商取引における EDI 標準の検討の中で生まれた、企業を特定するためのコードです。

EDI 標準が実現する前は、それぞれの企業が独自的方式で取引の電子化を進めたため、取引先ごとに異なる EDI の仕組みを導入しなければならませんでした。この「多端末現象」を解消するため、「メッセージ（EDI でやりとりする情報）」「シンタックスルール（メッセージを伝送する時に用いる構文規則）」「企業コード（EDI でやりとりする情報項目の 1 つ）」が標準化されました。

## Q. 「EDI」って何？

**A. 伝票や文書を電子データで自動的に交換することです（電子データ交換）。**

EDI とは、企業や行政機関などをネットワークでつなぎ、伝票や文書を電子データで自動的に交換することです。

EDI は、取引の電子化によって、事務作業の効率化や迅速化を実現します。また、EDI のデータは取引証憑として認められるため、文書のペーパーレス化と保管スペースの削減に役立ちます。また、SCM や、取引先とのパートナーシップの強化にもつながります。さらに、EDI データには印紙を貼付しなくてよいため、経費削減の効果をもたらします。

## Q. なぜ企業コードの標準化が必要なの？

**A. コード管理の手間や煩雑さから解放されます。**

それぞれの企業が取引先に対して独自の方法でコードを振ると、コードを振った企業では、コードの付番や管理が面倒になり、コードを振られた企業では、複数の取引先から異なるコードを振られることとなります。標準企業コードを使えば、こうした手間や煩雑さから解放されます。

標準企業コードは、1 社だけが取得してもメリットはありません。EDI を実施する当事者双方が取得することで、標準企業コードのメリットを享受できます。

## Q. どこで「標準企業コード」が使われているの？

**A. さまざまな業界、企業グループの EDI で採用されています。**

標準企業コードは、電子機器業界、鉄鋼業界、建設業界、物流業界、電力業界、広告業界、新聞業界、放送業界、通信サービス業界などのほか、大手企業を中心とした EDI ネットワークで採用されています。これらの業界やネットワークの中では、どこでも共通に使用することができます。

なお、EDI を始める際には、使用する企業コードの件を含め、EDI の運用方法などについて取引先と合意を図る必要があります。

標準企業コードのリストは、毎営業日に更新し、JIPDEC のホームページで公開しています。  
（2026年1月現在：約37,000件）

## Q. 企業の特定以外、「標準企業コード」は何に役立つの？

**A. 経営判断を行うためのデータの作成に役立ちます。**

標準企業コードは、企業識別コード 6 桁（センターにて発番・管理）＋部門識別コード 6 桁（企業にて発番・管理）の、合計 12 桁で構成しています。このため、企業ごと、部門ごとにデータの名寄せが可能であり、取引先ごとの調達履歴分析、売れ筋分析、需要予測などを行う際に、その判断材料となるデータを容易に集計・作成することができます。標準企業コードはまさに、EDI 取引、ビジネスに使えるコードです。

## Q. いつ、どこで、「標準企業コード」が発番されるの？

**A. 企業の申請に基づき、コードセンターが発番します。**

標準企業コードは、これを必要とする企業の申請に基づき発番され、不要になった場合は廃止できます。

標準企業コードは、JIPDEC が一元管理する業界横断的な企業コードです。JIPDEC は、全業界／企業からの申請を受け付けるとともに、業界コードセンターに登録受付（発番）業務を委託しています。

コードセンター	発番コード（上二桁）
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）EC センター	10****,11****,12****
一般社団法人日本鉄鋼連盟 鉄鋼 EDI センター	15****
一般財団法人建設業振興基金 金融・経理・契約支援センター 情報化推進室	21****,22****,23****
一般財団法人日本情報経済社会推進協会	50****,31****
一般社団法人日本物流団体連合会 物流 EDI センター	55****
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会	60****